

令和7年度 緑の環境調査

# 佐久市生きものさがし



## 調査報告書

令和8年3月

佐久市 環境政策課



# 目 次

はじめに・生物多様性とは	1		
調査方法・調査内容・調査期間・報告数	2		
分布図の見方・注意	3		
第1章 調査対象種			
1 ツバメ類	4		
2 ハクビシン	10		
3 アレチウリ	12		
4 オオキンケイギク	14		
5 オオハンゴンソウ	16		
6 オオカワヂシャ	17		
第2章 調査対象種以外		19	
2-1 昆虫類	2-2 植物類	2-3 魚類・両生類・は虫類	
2-4 鳥類	2-5 ほ乳類	2-6 その他	
調査員から寄せられた感想	35		
考察専門員の先生から	37		
まとめ	40		

## はじめに

「緑の環境調査」は、市の自然環境の状態を探るとともに、環境保全に対する市民の皆さんの意識高揚を図ることを目的として、平成4年度から実施しています。

毎年度調査対象種を選定し、市民の皆様からの目撃・確認報告をしていただくことで、市内の生物多様性を把握する資料となっています。

平成30年3月に「佐久市生物多様性地域戦略」を包含した市の環境行政の基礎となる「第二次佐久市環境基本計画」を策定し、令和5年3月にはこの計画の検証を踏まえて改訂版を策定しました。その中で指標生物に定められた15種の中から6種を選定し、今年度の「佐久市生きものさがし」を実施しました。

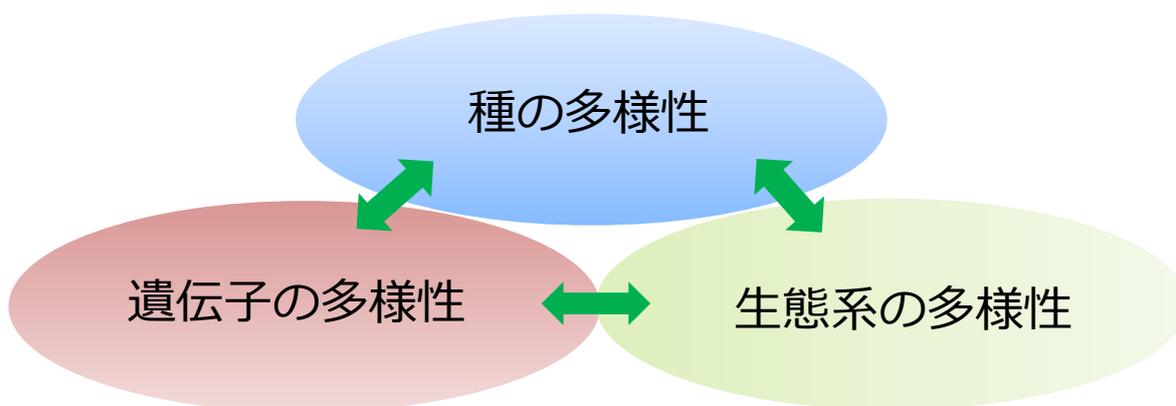
## 生物多様性とは

生物多様性とは、生物の豊かな個性のつながりのことです。地球上の生物は、40億年という長い歴史の中で、さまざまな環境に適応して進化し、3,000万種ともいわれる多様な生物が生まれました。これらの生命は一つひとつに個性があり、全て直接的・間接的に支えあって生きています。

生物の多様性に関する条約では、「生態系の多様性」、「種の多様性」、「遺伝子の多様性」の3つのレベルで多様性があるととしています。

生物多様性の保全には、地球温暖化対策と同様、早急な対応が必要です。

## 多様性の3つのレベル



生態系の多様性：草地や森林、海洋などさまざまな生態系のこと

種の多様性：さまざまな動植物が生息・生育していること

遺伝子の多様性：同じ種でも個体ごとに遺伝子がさまざまであること

## 調査方法

ハガキ、メール、電話、FAX、LINE、X(旧Twitter)、オンライン報告にて報告を受け付けました。

また、市立図書館や佐久市子ども未来館等にも報告コーナーを設けました。

その他に、学校や家庭での地球温暖化防止に向けた活動を推進するため、「わが家のエコ課長」を委嘱している市内の小学4年生の皆さんにもご協力いただきました。



【一般用】



【小学生用】



【図書館の様子】

## 調査内容

佐久市内で見つけた、調査対象種6種とめずらしい生きものや見たことのない生きもの、見つけた生きものについて、「種類」「場所・環境」「日にち」「数・特徴」「気づいたこと・感想」を報告していただきました。

ツバメについては、「巣の場所」「生まれたヒナの数」「巣立ったヒナの数」などの報告にご協力いただきました。

## 調査期間

令和7年4月1日～令和7年12月31日

## 報告数

**992件**

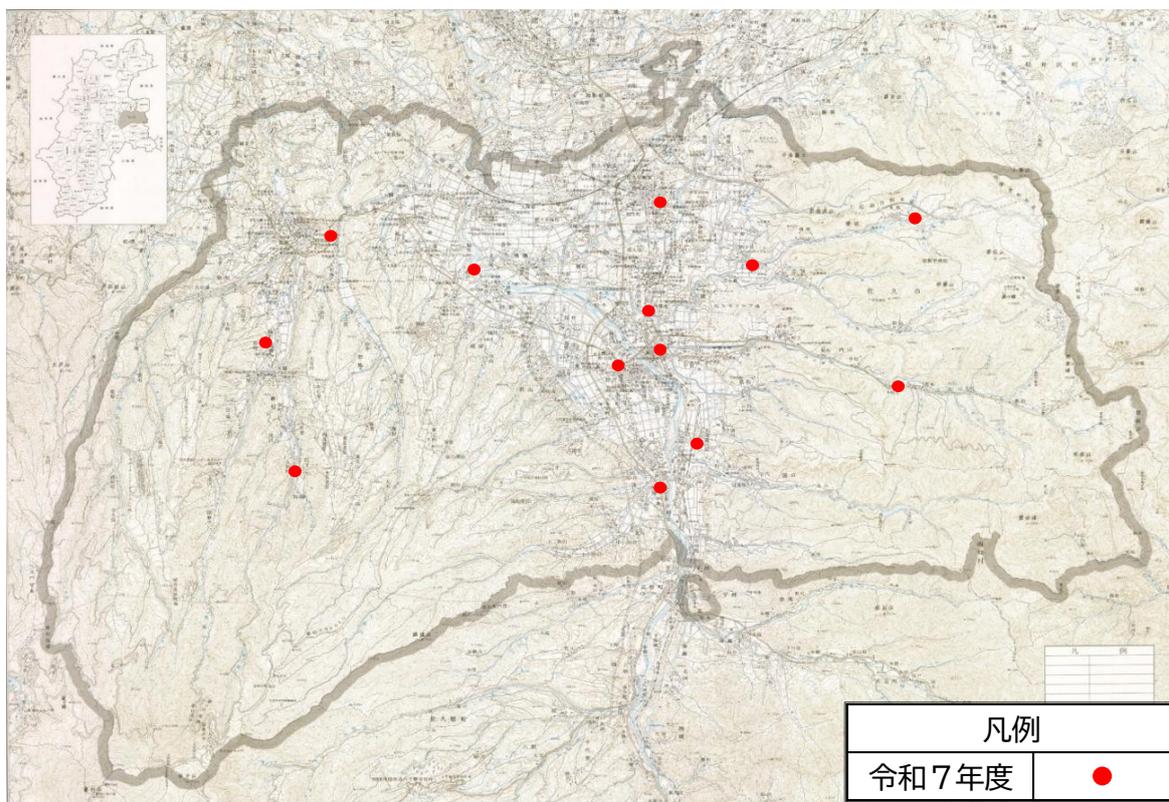
※1つの生きものを1件とする。

(内訳) 一般： 263件、小学生： 729件

## 分布図の見方

結果の分布図は、報告により場所が分かるものを記載しています。したがって、報告で場所が特定できなかったものは記載していません。また、同一地点で複数の報告があった生きものもいます。そのため、報告件数と分布図上の地点数は一致していません（下図参照）。

(例図) 報告件数 20 件、場所の特定ができた報告 15 件 (同一地点 2 か所)、  
報告場所不明件数 5 件



## 注意

この調査は市民の皆さんにご協力いただき、身近な場所や出かけた先で見つけた生きものを報告していただいています。

そのため、どこにどんな生きものがいたかということを示すものであり、そこにいる数を示すものではありません。

また、市内全域について調査を行っているものではないため、記載のない場所にその生きものはいないということを示すものではないということをご了承ください。

## 第1章 調査対象種

### 1 ツバメ類

#### 特徴

- ・ ツバメ科
- ・ 渡り鳥であり、東南アジアで冬を越し、春先に日本へと渡る
- ・ ハチやハエなどの昆虫を食し、水も飛行しながら飲む
- ・ 飛行速度は時速45キロメートルほどだが、天敵から逃げる際には時速200キロメートルにもなる
- ・ 帰巣本能があり、生まれ育った地域に帰ってくることが多い
- ・ 市街地、里山の指標生物



#### ツバメの四季

##### 日本に到着

ツバメは寒さが苦手です。日本が冬の間は、暖かい南方の国で過ごし、春になるとエサが豊富な日本にやってきます。その距離なんと3~7千km！その途中命を落とすツバメも…。まさに命がけの旅です。

##### 繁殖・子育て

春~夏は巣作り、産卵、子育てなど大忙しです。1年に2回繁殖することもあります。  
親ツバメがエサを運ぶ回数は1日に約300回で、エサはハチ、ハエ、カメムシ、ヨコバイ、アブ、トンボなど飛ぶ虫です。

春 夏

冬 秋

##### 南国で…

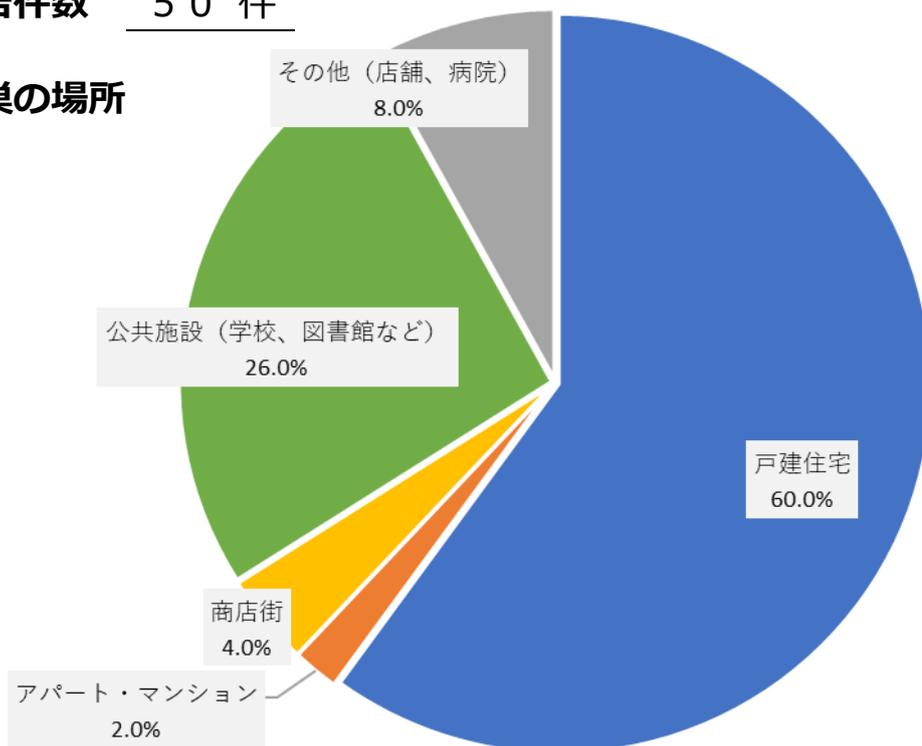
日本が冬の間、暖かく、エサがたくさんある東南アジアなどで体力を蓄えます。  
近年、こうした東南アジアも開発によって自然が減少し、ツバメにとって棲みにくい環境になっていることが心配されます。

##### 旅立ち

ヒナたちは、成長すると、旅立ちに向けて飛ぶ練習をします。ツバメは飛びながらエサを捕るため、上手に飛べるかがとても重要です。  
この時、親鳥は近くで見守ります。  
肌寒くなった秋口には日本から旅立ちます。

報告件数 50 件

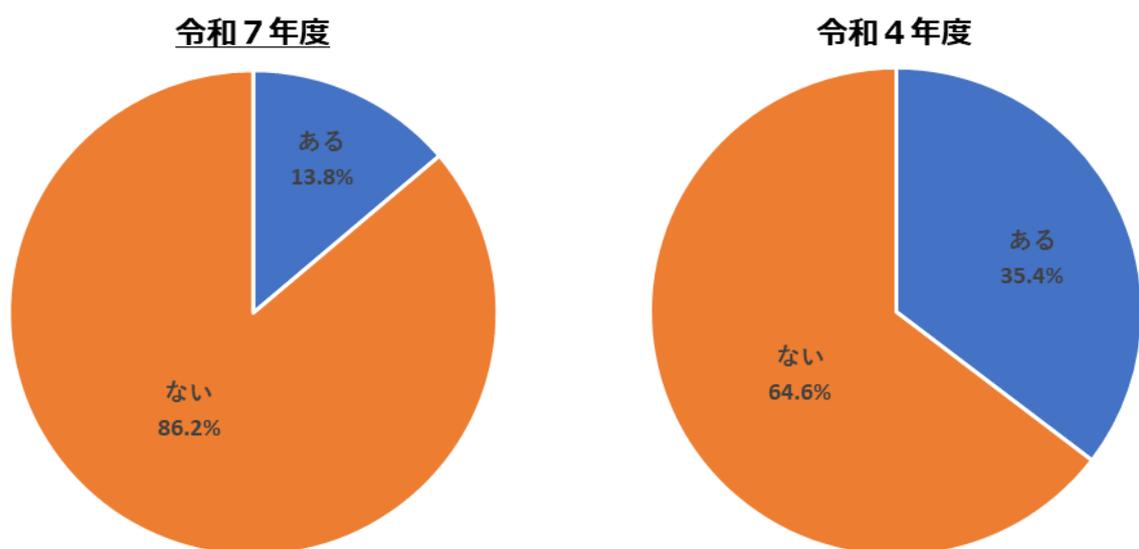
・ 巣の場所



(件数の内訳)

戸建住宅… 30件、集合住宅 (アパート・マンション) … 1件、商店街… 2件、  
公共施設 (学校・図書館など) … 13件、その他 (店舗・病院など) … 4件

・ 自分の家に巣があるか

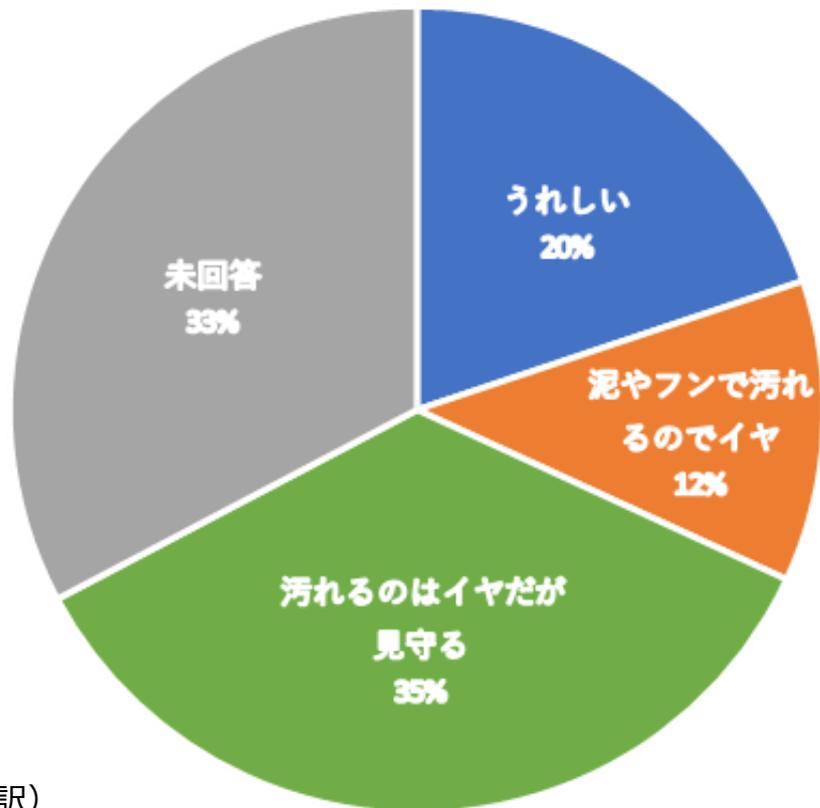


(件数の内訳)

ある… 16件、ない… 100件

ある… 100件、ない… 219件

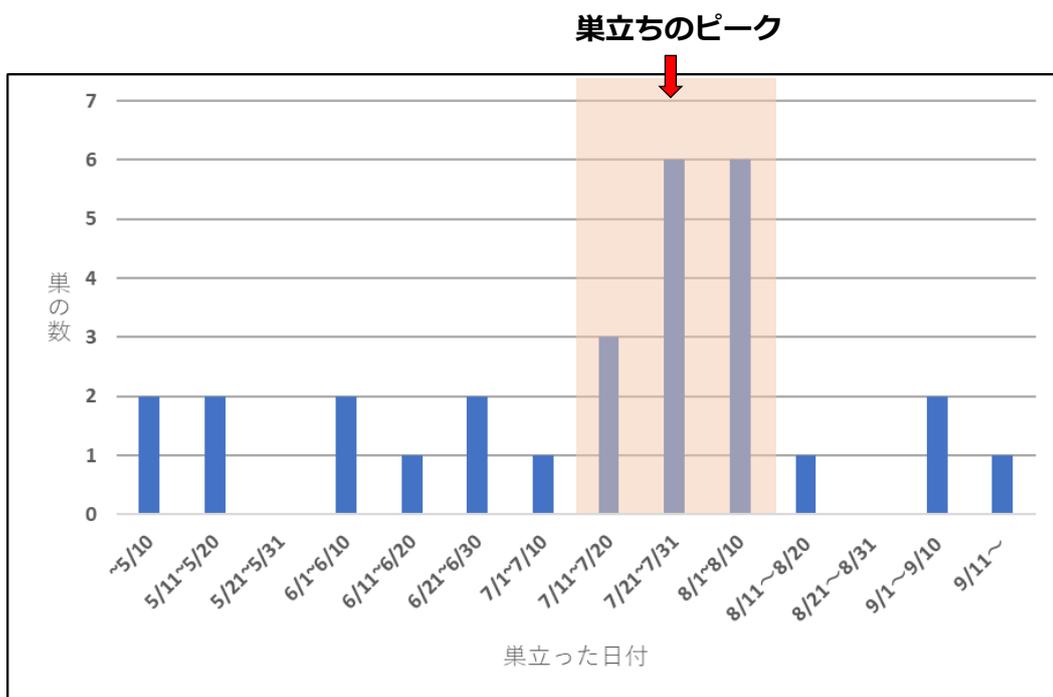
・自分の家にツバメが巣をつくることをどう思うか



(件数の内訳)

うれしい… 23件、泥やフンで汚れるのでイヤ… 14件、汚れるのはイヤだが見守る… 41件、未回答… 38件

・巣立った日付と巣の数（日付を特定できないものは除く）



巣立ちの多くは、7月下旬から8月上旬に確認されました。

令和4年度の調査時には、1回目の巣立ちのピークは、6月中旬から6月下旬、2回目の巣立ちのピークは、7月下旬から8月中旬となりました。

今回の調査では、1回目の巣立ちのピークは把握できませんでしたが、2回目の巣立ちのピークが7月下旬から8月上旬となり、前回並みの調査結果となりました。

・**生まれたヒナと巣立ったヒナの数(数を特定できないものは除く)**

生まれたヒナの数	巣立ったヒナの数
120羽／32巣 平均 3.75羽	118羽／32巣 平均 3.69羽

※上記の表は、生まれたヒナと巣立ったヒナの数があきらかな巣のみ集計し、報告数値としました。

〈参考〉

令和元年度：【1回目】

生まれたヒナの数…平均 4.42 羽  
巣だったヒナの数…平均 4.09 羽

【2回目】

生まれたヒナの数…平均 3.77 羽  
巣だったヒナの数…平均 3.39 羽

令和4年度：【1回目】

生まれたヒナの数…平均 4.00 羽  
巣だったヒナの数…平均 3.36 羽

【2回目】

生まれたヒナの数…平均 3.92 羽  
巣だったヒナの数…平均 3.20 羽

※2回目の子育ては、1回目の子育てに失敗し、子育てをやり直しているなどの理由から時期が遅くなったものも含んで数えています。

## ・ツバメについての質問や感想

### 質問

**Q**：ツバメとイワツバメの見分け方はあるの？

**A**：ツバメとイワツバメの違いは、主に下表のとおりです。

特 徴	ツバメ	イワツバメ
のどの色	赤い	白い
腰の色	黒	白色
尾羽の長さ	長い	短い
足の色	毛がなく黒い	白い毛が生えている
大きさ	約17cm	約13cm
巣の構造	お椀型	つぼ型（ドーム型）

**Q**：ツバメはどういう場所に巣を作るの？

**A**：ツバメが巣を作る場所は、4つの条件があると言われています。

#### ①人通りが多い場所

天敵のカラス等から身を守るため、人の出入りが多い場所を選びます。

#### ②ボコボコした巣を作りやすい壁

巣を安定させるため、ボコボコした素材の壁に巣を作ります。

#### ③風通しと日当たりがよい場所

風通しや日当たりがよい場所で、暑くなりすぎないところを選びます。

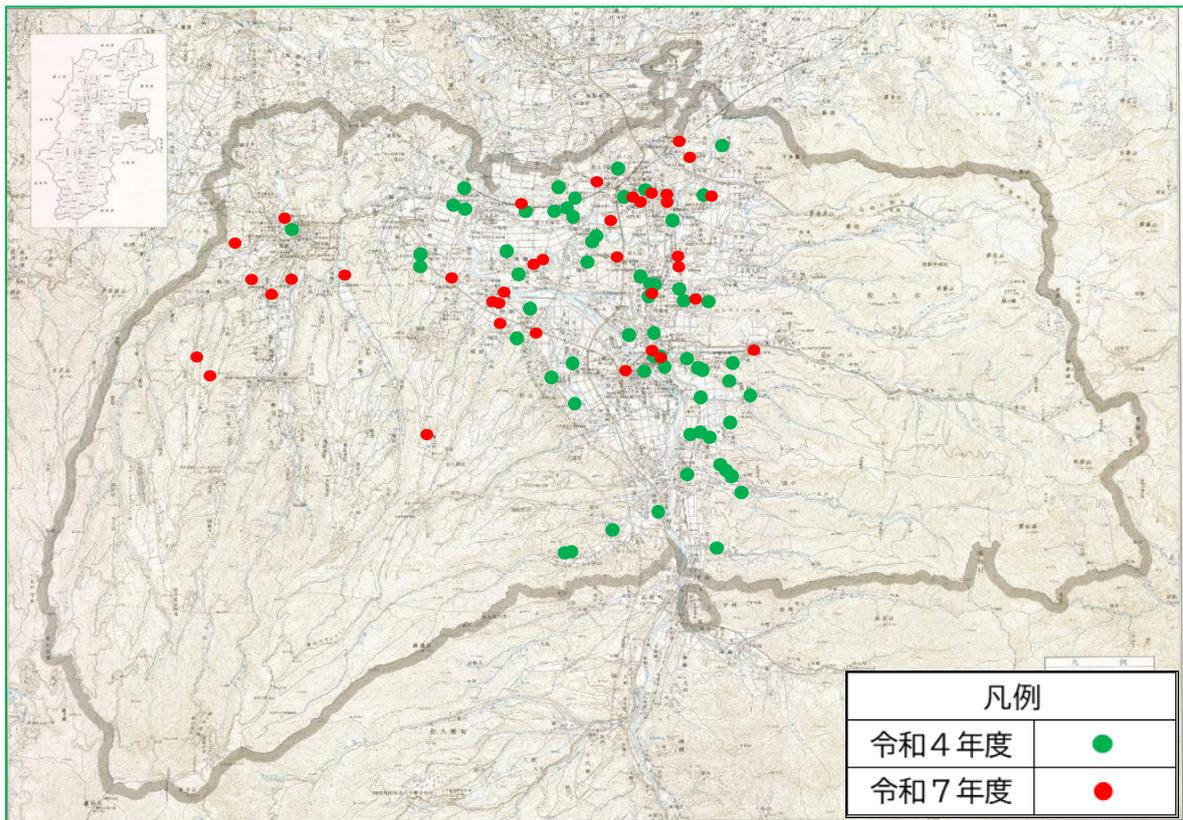
#### ④雨がしのげる場所

大切な卵やヒナ、自らを雨風から守るためです。

### 感想

- ・イワツバメとツバメの違いがわかってよかった。
- ・ツバメがいなかった自分の家には巣をつくらなかったのかなと思った。
- ・家の玄関にツバメが巣を作りあげるまでは、他のツバメや動物が来ないようにファンをかけマーキングしているのか、毎日玄関にファンをされた。だけど、巣が完成に近づくとファンをしなくなった。
- ・ツバメはどういうところに巣をつくるのか知りたいと思った。

## 分布図



## 調査員からの写真



中央図書館（猿久保）



白山神社近く民家（大和町）



住宅（伴野）



店舗（西本町）

## 2 ハクビシン

### 特徴

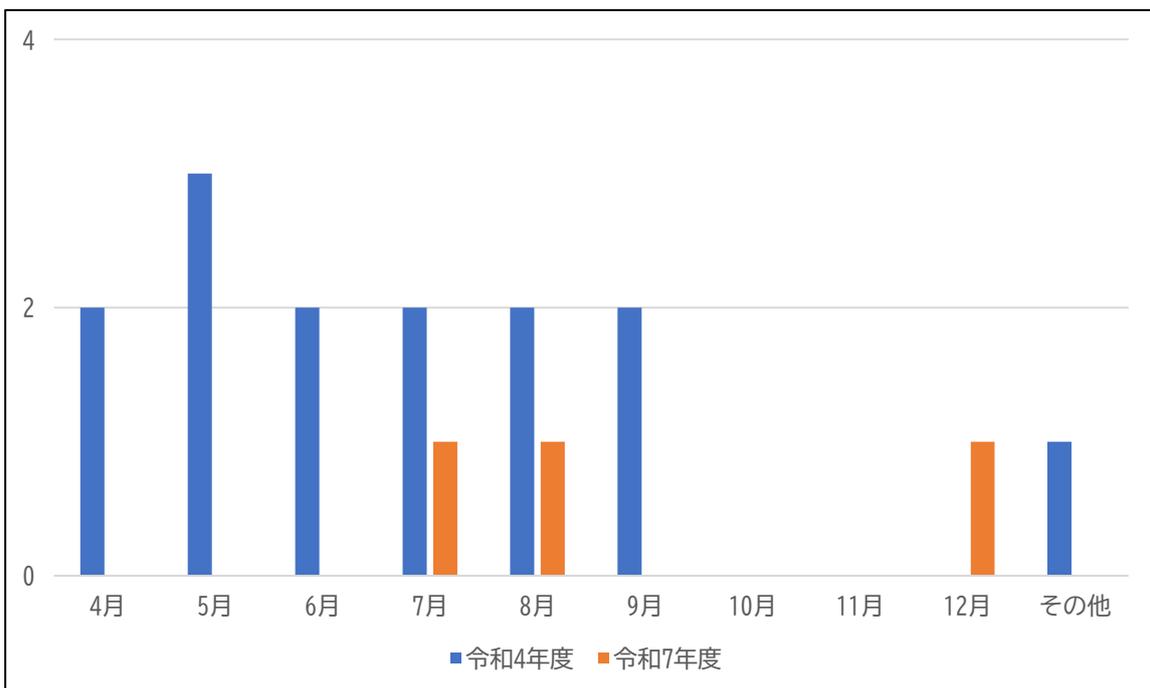
- ・ジャコウネコ科
- ・名前のおり顔に白い線があり、長い尾が特徴
- ・木の幹の穴や民家の床下、屋根裏をすみ家にする
- ・夜行性で植物食が中心の雑食であるが、果物や野菜などを食い荒らすなどの農業被害が深刻な問題となっている



報告件数 3 件

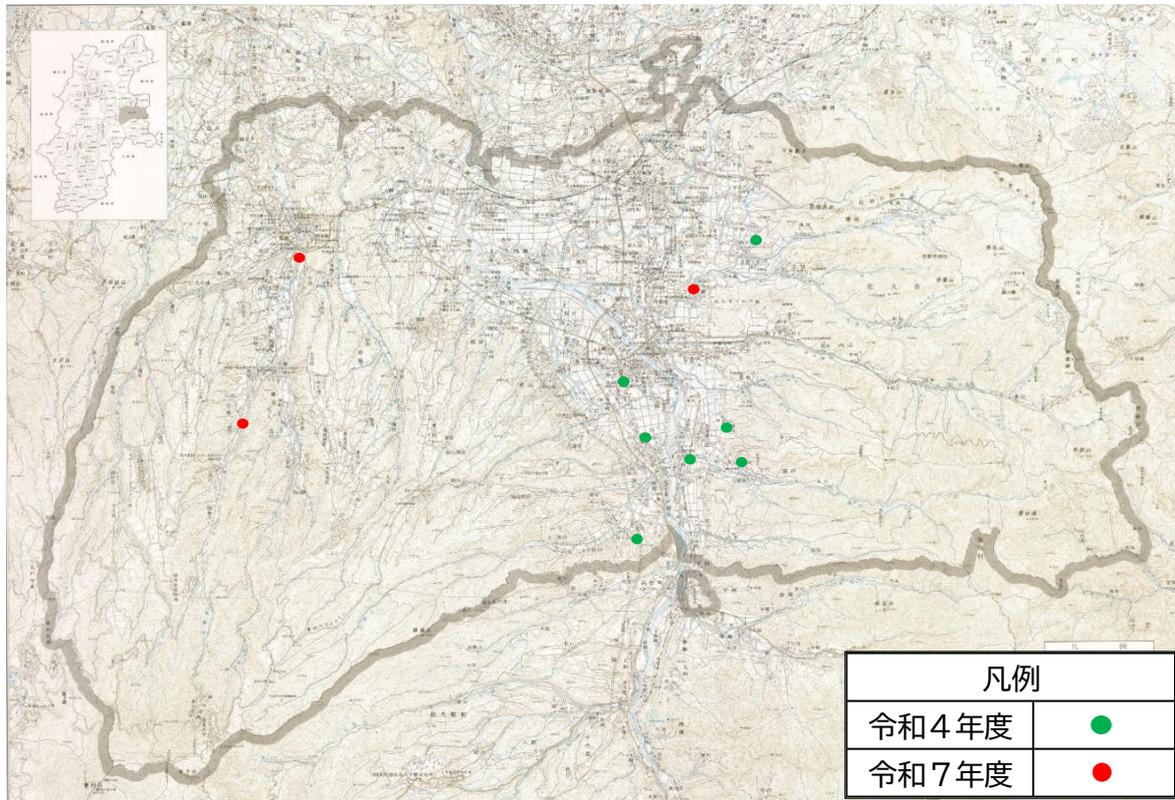
### 見つけた時期

(件)



※その他…時期が不明なもの、「3月から8月まで観察できた」のように幅があるもの

## 分布図



7月から12月にかけて3件の報告がありました。ハクビシンは冬眠せず、1年中活動しますが、暖かくなるにつれ活動範囲が広がるとされています。

今年度調査では、前回調査に比べて件数は減少しましたが、すべての報告場所は自宅であり、人の出入りが頻繁にある場所での報告となりました。

ハクビシンは害獣として扱われることが多く、住家や空き家への侵入による騒音トラブルや糞尿による衛生悪化、また農作物などへの被害が懸念されており、今後も注視が必要となります。

### 3 アレチウリ



#### 特徴

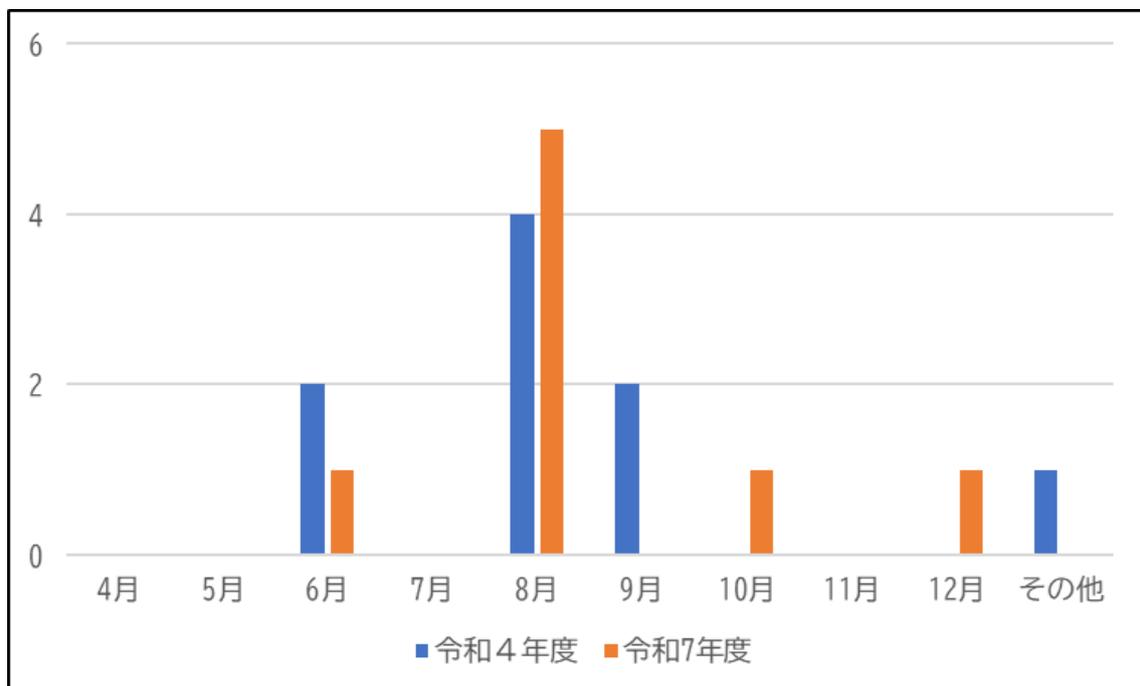
- ・ウリ科の一年草
- ・5月初旬ころから10月下旬まで発芽し続ける
- ・特定外来生物に指定されており、市内でも河川流域を中心に増加している
- ・繁殖力が強く、地下にシードバンクを形成し、複数年にわたり発芽することができる
- ・在来の植物を駆逐してしまうことや農作物等への影響も懸念されている

※シードバンク…地中で複数年生存し、発芽の条件が整う機会を待つ種子の集団のこと

報告件数 8 件

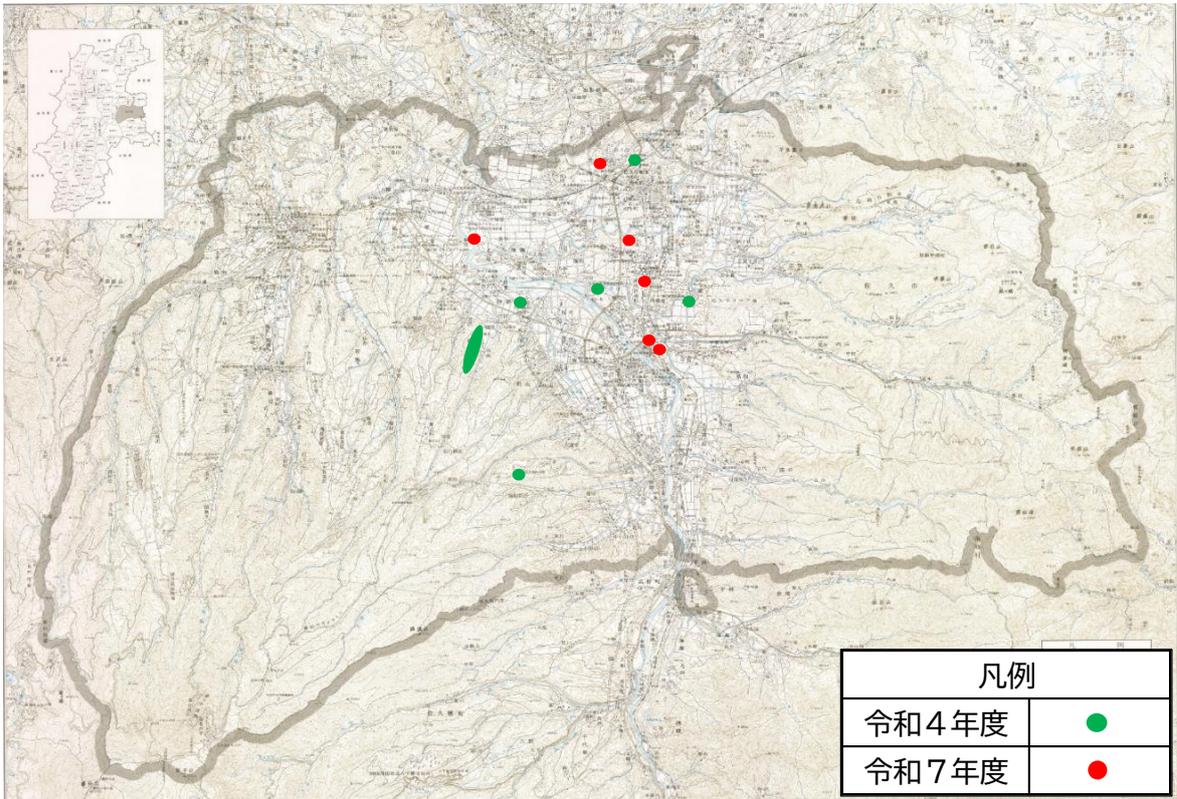
#### 見つけた時期

(件)



※その他…時期が不明なもの、「3月から8月まで観察できた」のように幅があるもの

## 分布図



6月から8月にかけて多くの報告がありました。アレチウリは水辺や湿った場所を好み、非常に高い繁殖力を持ち、つるの長さは十数メートルに及びます。千曲川沿いでは堤防から河川敷の樹木まで「緑のカーテン」のように覆い尽くしている場所も見られます。

アレチウリを根絶するためには、5月から9月頃の間複数回の抜き取り作業を数年間続けて行う必要があります、地域全体での取り組みが必要です。

## 調査員からの写真



中部横断自動車道（側道）



佐久大橋付近

## 4 オオキンケイギク

### 特徴

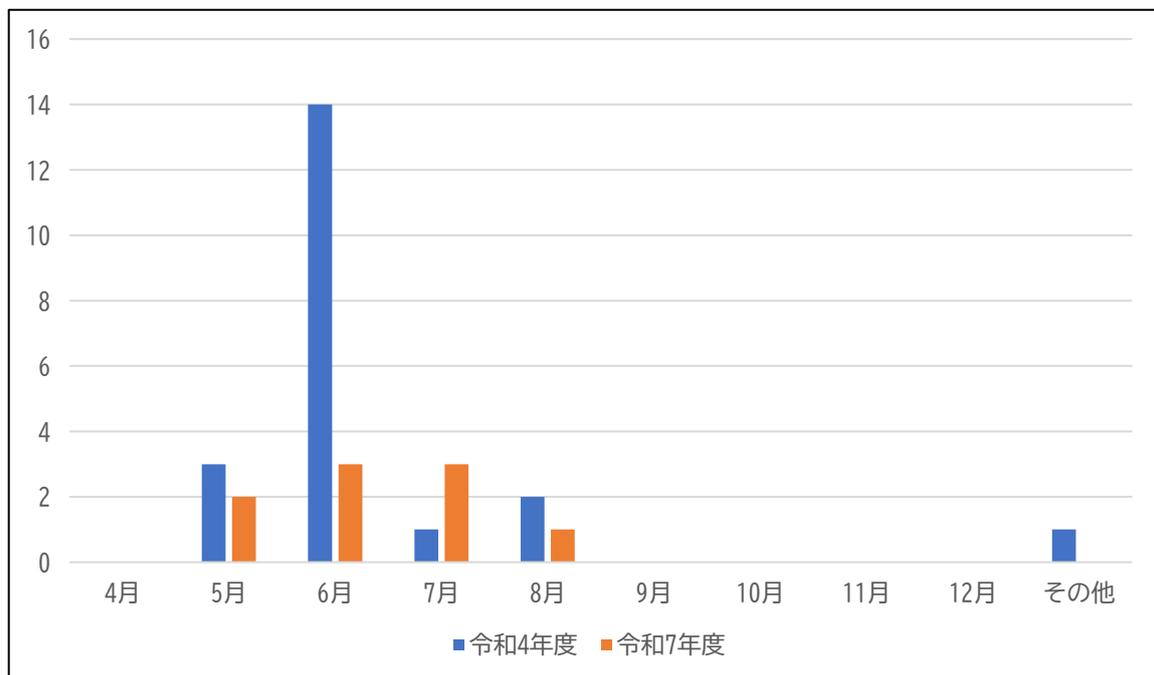
- ・キク科の多年草
- ・高さ30～70センチ程度
- ・5月から7月にかけて黄色い花が咲く
- ・特定外来生物に指定されており、全国的には河川流域で増加しているが、市内では道路沿いを中心に生育している
- ・繁殖力が強く、荒地でも生育できることから緑化用、観賞用として利用されてきたが、在来の植物を駆逐してしまうことが懸念されている



報告件数 9 件

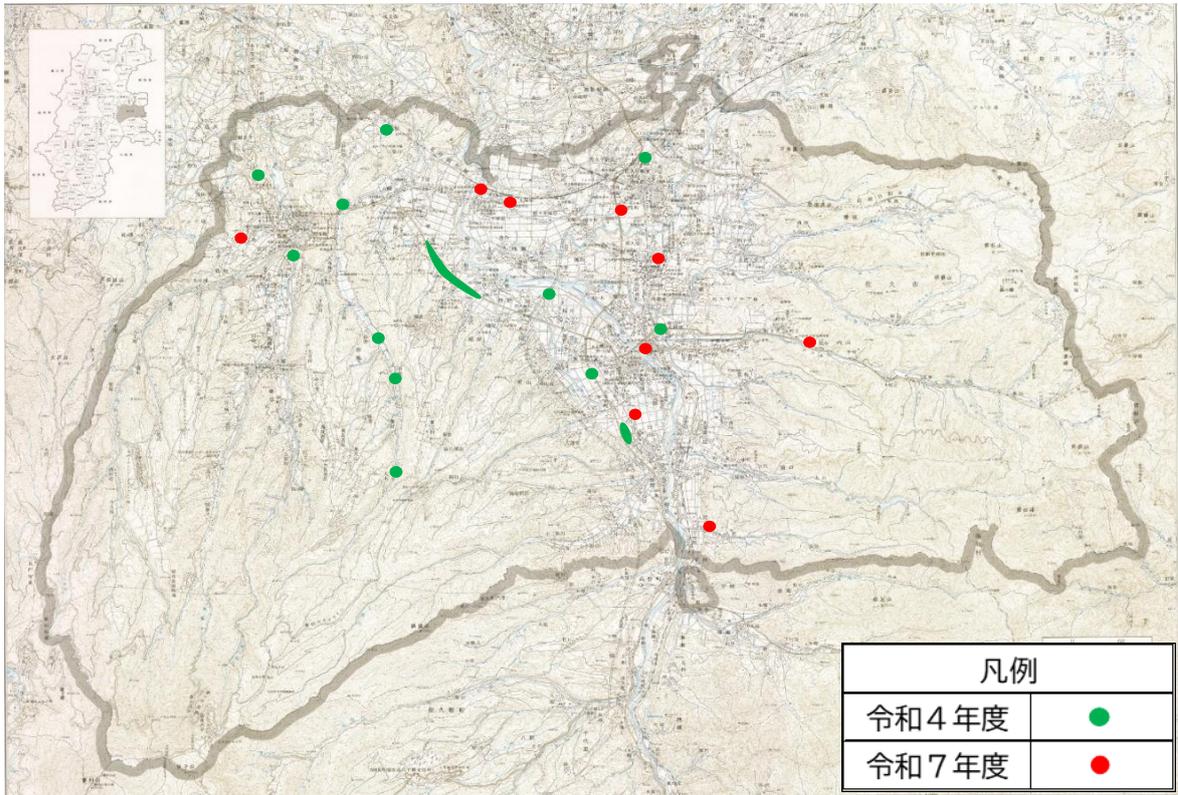
### 見つけた時期

(件)



※その他…時期が不明なもの、「3月から8月まで観察できた」のように幅があるもの

## 分布図



5月から8月にかけて報告がありました。

令和4年度と比較すると報告件数は減少しましたが、分布区域は拡大しているように見受けられ、市街地やその周辺、また幹線道路沿いに生育が確認されています。

市としては、引き続き区などに対して説明会を行うことや、学校及び地域の団体と協働で抜き取り作業を行うなど、駆除と啓発に努めていきます。

## 調査員からの写真



塩名田



猿久保

## 5 オオハンゴンソウ



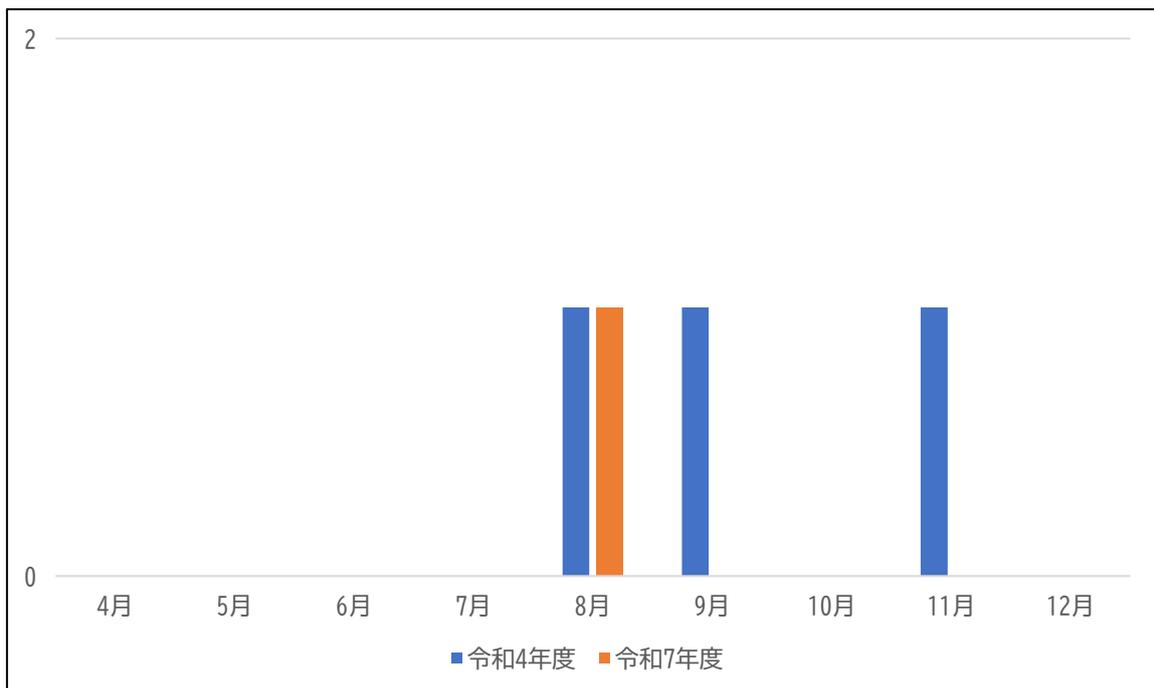
### 特徴

- ・キク科の多年草
- ・高さ50～300センチ程度
- ・7月から10月頃にかけて黄色い花が咲く
- ・特定外来生物に指定されており、高地や湿地で増加している
- ・繁殖力が強く、地下茎やシードバンクで繁殖することができる。湿地帯での生育が多く、在来の貴重な湿地植物を駆逐してしまうことが懸念されている

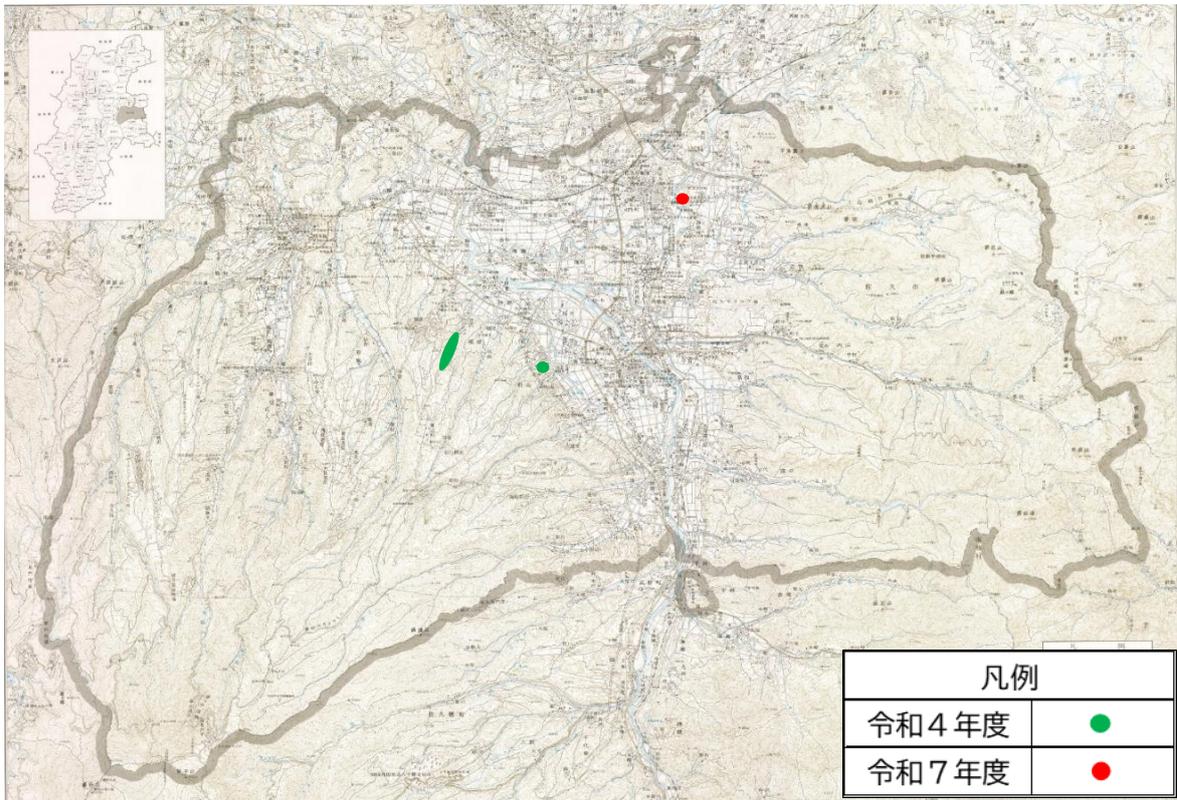
報告件数 1 件

### 見つけた時期

(件)



## 分布図



8月に岩村田（鼻顔稻荷公園）で1件の報告がありました。前回、令和4年度調査では、前山地域、岸野地域の通学路での報告もあり、今年度調査の件数は少ないですが、報告場所からもわたしたちの生活圏へ分布が広がっていると考えられます。

## 6 オオカワヂシャ

### 特徴

- ・ゴマノハグサ科の多年草
- ・高さ30～100センチ程度
- ・4月から9月頃にかけて淡紫色の花が咲く
- ・特定外来生物に指定されており、河川や湿地などの水際で生育している
- ・繁殖力と適応能力が強く、在来種との競争や遺伝子攪乱を引き起こす可能性があり、環境に大きな影響を与える



# 報告件数 0 件

令和5年度より指標生物として追加されましたが、今年度調査では報告がありませんでした。

その要因として、オオカワヂシャは淡い青紫色のきれいな花を咲かせるためきれいな野草に見えてしまう、生息場所が河川や湿地など水辺を好む植物のため、人の目に留まりづらいこと、また特定外来生物としての被害が目に見えにくいことなどが要因と考えられます。

指標生物に位置付けられているオオカワヂシャは、在来種や地域の景観に大きな影響を及ぼす外来種として、数年に一度、調査対象種としています。

今後も、より一層の周知を促すとともに、拡散防止に努めます。

## 佐久市内の特定外来生物（植物）

### 特定外来生物(植物)の拡大・被害防止のために

**特定外来生物とは…?**

これまでその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域からもちこまれた生物のことを“外来生物”といい、そのなかでも特に生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、または及ぼすおそれのあるものを“特定外来生物”といいます。以下の4種は佐久市内で生育が確認されている特定外来生物(植物)であり、在来植物と生育環境を競合したり、交配することで雑種を形成したりと、もともととの生態系を脅かすことが懸念されます。

特定外来生物被害  
**予防三原則**

**入れない**

悪影響を及ぼすかもしれない外来生物をむやみに入れない!

**捨てない**

飼っている外来生物を自然のなかに捨てない!

**拡げない**

自然のなかにいる外来生物は他の地域に拡げない!

#### アレチウリ



**特徴**  
つるを伸ばし他の植物や樹木を覆い、日光をさえぎって駆逐します。つるの生育速度が非常に速く、果実には硬いトゲがあります。発芽が5~10月頃までと長期にわたるため、期間が経つと一度放ききった場所でも違う種から生えてきてしまいます。

**対処方法**  
芽初期(5~6月)に駆除するのが最も効果が高く、10月までの間に数回、同一の場所で抜き取る作業を行います。

似ている植物：クズ

クズは、日本在来のつる性の植物で、アレチウリに似た目がよく似ています。食用では細くすり切りにして(くずもち)に使われています。

【見分け方】葉が五角形のように発達しているのがアレチウリで、丸みがあるのがクズです。花はアレチウリが緑つつく地味な色に対し、クズは鮮やかな紫色をしています。

#### オオカワヂシャ



**特徴**  
紫色の小さな花を咲かせます。湿地、河川や自営たりのよい水辺に生育します。繁殖力が旺盛であり、在来種の減少を招きます。花の形は類似オオバコ科のオオムソウとよく似ています。

**対処方法**  
4~5月、9月頃に抜き取り作業を行います。根から再生するため、残さずに抜き取ります。

! オオカワヂシャを目標とした方は、下記にご連絡ください

似ている植物：カワヂシャ

カワヂシャは、日本在来の植物で、小さな白い花を咲かせます。オオカワヂシャとは同じ種であり、交配による雑種形成でカワヂシャが絶えてしまう危険をはらんでいます。環境省により準絶滅危惧種に指定されています。

【見分け方】葉の形でのこげが自立つのがカワヂシャで、自立しないのがオオカワヂシャです。花もカワヂシャは小さく白色に対し、オオカワヂシャは大きく紫色が目立ちます。

#### オオハンゴンソウ



**特徴**  
大きいもので3mほどまで成長し、黄色い花を咲かせます。灌叢等の在来種と生育環境を競い合い、旺盛な繁殖力で駆逐します。また、その大きさから他の植物への光をさえぎり、生育を阻害してしまいます。

**対処方法**  
結実が始まる前の4~8月頃に抜き取り作業を行います。

#### オオキンケイギク



**特徴**  
オレンジ色の花を咲かせ、道路沿いの日当たりの良い場所によく見かけられます。繁殖力が旺盛であり、他の植物に多く光をさえぎり生育を阻害して他の植物種を駆逐してしまいます。また河川敷に侵入した場合、固有の在来種の減少を招く恐れがあります。

**対処方法**  
5~7月に開花して種子を形成するため、種子散布前の6月頃に目標に抜き取り作業を行います。

駆除した際は、根・種子が拡散しないよう、直ちに市が指定する可燃ごみ袋に入れ中身が出ないよう密閉し、燃えるごみとして処分してください。また、下記にご連絡いただければ回収に伺うこともできます。

**環境政策課 環境政策係 TEL.62-2917(直通)**

白田支所 経済建設環境係：82-3111(代表) 浅科支所 経済建設環境係：58-2001(代表) 望月支所 経済建設環境係：53-3111(代表)

写真出典：環境省HP「日本の外来種対策」

## 第2章 調査対象種以外

報告件数 921 件 (全報告数 987 件の内数)

### 2-1 昆虫類

報告件数 357件/921件中

	種類	発見場所 (発見日)
1	アカシジミ	春日 (7/21)
2	アカダニ	1箇所 (5/17)
3	アカトンボ	泉小学校 (8/28)、平尾山 (10/3)、前山地区グラウンド (10/20、10/30)
4	アカボシゴマダラ	杉の木貯水池 (9/20)
5	アキアカネ	さやか星小学校 (7/23)、ほか 2 箇所 (7/29、10/30)
6	アゲハチョウ	岸野小学校 (7/18)、望月小学校 (7/23)、さやか星小学校 (7/24)、駒場公園 (7/30)、ほか 4 箇所 (7/23、7/24、8/5、8/14)
7	アシナガバチ	2箇所 (5/5、8/21)
8	アブ	1箇所 (8/17)
9	アブラゼミ	1箇所 (7/23)
10	アメンボ	5箇所 (5/16)
11	アリ	平賀神社 (5/9、5/12)、佐久城山小学校 (5/16)、北中込駅 (5/28)、さやか星小学校 (7/23)、泉小学校 (7/28、8/28)、佐久総合運動公園陸上競技場 (7/30)ほか 6 箇所 (5/18、7/26、8/18、11/20、12/14、不明)
12	アリバチ	さやか星小学校 (7/23、7/24)
13	ウスバシロチョウ	美笹湖 (6/1)
14	ウマオイ	臼田 (8/14)
15	ウラナミシジミ	八幡 (10/7)
16	オオスジコガネ	モリカクカメラ前 (8/14)
17	オオスズメバチ (女王バチ含む)	平尾山 (10/3)、ほか 3 箇所 (7/23、7/26、8/11)
18	オオムラサキ	駒の里ふれあいセンター (8/15)
19	オニヤンマ	岸野小学校プール (7/18)、若宮公園 (7/30)、モ

		リカクカメラ (8/12)、溪徳寺 (9/13)、パラダ (10/2)、ほか 4 箇所 (7/20、7/31、8/17、8/25)
20	蚊	平賀神社 (5/9)、佐久市営球場 (12/8)、ほか 3 箇所 (7/29、8/17、不明)
21	蛾	平賀神社 (5/9)、ほか 1 箇所 (7/29)
22	カナブン	前山地区グラウンド (10/30)
23	カブトムシ (幼虫を含む)	佐久市役所 (4/30)、高瀬小学校裏 (7/28)、平根小学校 (7/30)、湯川親水公園 (7月)、臼田 (8/14)、パラダ (10/2、10/3)、前山地区グラウンド (10/30)、平賀保育園 (不明)、ほか 5 箇所 (7/23、7/26、8/3、8/10、8/13)
24	カマキリ	さやか星小学校 (7/23)、塩名田 (8/2)、平尾山 (9/3)、モリカクカメラ前 (9/3)、望月小学校 (9月)、前山地区グラウンド (10/30)、ほか 8 箇所 (7/18、7/27、8/1、8/11、8/16、8/19、10月)
25	カミキリムシ	2 箇所 (7/29、7月)
26	カメムシ	望月小学校 (11月、12/12)、望月総合体育館 (12/8)、ほか 1 箇所 (11月)
27	カラストンボ	高瀬小学校裏 (7/28)、高瀬小学校体育館 (8/26)、ほか 1 箇所 (7/26)
28	キイロスズメバチ	岸野小学校プール (7/18)、望月総合体育館 (12/7)、ほか 1 箇所 (12/8)
29	キバネツノトンボ	八幡 (5/17)
30	キバラヘリカメムシ	モリカクカメラ前 (11/12)
31	ギンヤンマ	1 箇所 (不明)
32	クビギリス	前山地区グラウンド (10/30)
33	クマバチ	下平尾 (6/5)
34	クワガタ	中央区南町 (7/15)、高瀬小学校裏 (7/28)、パラダ (10/3)、ほか 4 箇所 (6/23、7/28、7/30、7月)
35	ゲジゲジ	2 箇所 (5/20、12/11)
36	ケムシ	平賀神社 (5/12)、鼻顔稲荷公園 (8/2)、泉小学校畑 (8/28)、ほか 3 箇所 (5月、7/28、8/14)
37	コオロギ	パラダ (10/3)、前山地区グラウンド (10/30)、ほか 5 箇所 (7/26、8/5、8/9、8/12、10/3)
38	コガネムシ	駒形神社 (8/6)、ほか 1 箇所 (7/26)
39	ゴキブリ	1 箇所 (8/11)
40	コクワガタ (メス)	中佐都小学校裏山 (8/1)

4 1	コヤマトンボ	さやか星小学校 (7/16)
4 2	シオカラトンボ	下平尾 (8/10)、泉小学校 (8/28)
4 3	シジミチョウ	八幡 (7/30)
4 4	ショウリョウバッタ	さやか星小学校 (7/23、7/24)、ほか 1 箇所 (8/4)
4 5	シロスジカミキリ	香坂集会所北 (9/1)
4 6	シロテンハナムグリ	モリカクカメラ前 (7/30)
4 7	セミ (抜け殻を含む)	望月小学校 (7/24)、駒場公園 (7/29、8/1、8/15)、 若宮公園 (7/31)、鼻顔稻荷神社 (8/20)、さやか 星小学校 (7/24)、臼田 (8/14)、ほか 10 箇所 (7/17、7/20、8/3、8/8、8/10、8/12、8/13、 8/19、8/28)
4 8	ゾウムシ	2 箇所 (5/9)
4 9	タイコウチ	蓬田 (7/18)
5 0	タガメ	1 箇所 (8/12)
5 1	タテハチョウ	前山地区グラウンド (10/30)
5 2	ダンゴムシ	平賀神社 (5/9、5/12、6/9)、佐久城山小学校 (5/16)、前山地区グラウンド (10/30)、白山団 地 (12/4、12/13)、ほか 4 箇所 (7/26、8/17、 10/30、不明)
5 3	チョウ	泉小学校 (8/28)、パラダ (9/3、10/3)、前山地 区グラウンド (10/30)、ほか 3 箇所 (8/20、8 月、 10/31)
5 4	ツマグロヒョウモン	モリカクカメラ横 (11/3)
5 5	テントウムシ	泉小学校 (8/28)、ほか 2 箇所 (7/27、11/22)
5 6	トノサマバッタ	さやか星小学校 (7/23)、パラダ (7/30)、ほか 1 箇所 (7/23)
5 7	トンボ	岸野小学校 (7/18)、さやか星小学校 (7/23)、イ オン佐久平店 (7/26)、若宮公園 (7/28)、鼻顔稲 荷公園 (8/2)、駒場公園 (8/17)、泉小学校 (8/28)、 中佐都小学校 (9/4)、パラダ (10/3)、平尾山 (10/3)、田口 (10/10)、前山地区グラウンド (10/30)、ほか 15 箇所 (7/26、7/28、7/30、 8/2、8/20、8/21、9/21、9/27、10/5、10/30、 10/31、11/12)
5 8	ナナホシテントウ	泉小学校 (7/28)
5 9	ナミアゲハ	若宮公園 (8/15)
6 0	ノコギリクワガタ	1 箇所 (8/2)
6 1	ハエ	平賀神社 (5/9)、ほか 1 箇所 (7/30)

62	ハグロトンボ	望月小学校 (5/12)、鼻顔稲荷公園 (8/20)、モリカクカメラ (9/8)、ほか 2 箇所 (7/23、7/27)
63	ハサミムシ	佐久城山小学校 (5/16、不明)
64	ハチ	岸野小学校プール (7/18)、一本柳 (7/26)、ほか 4 箇所 (4/20、8/10、8/16、8/20)
65	バッタ	岸野小学校 (7/12、7/14、7/18、7/22)、さやか星小学校 (7/23、7/24)、パラダ (10/2、10/3)、前山地区グラウンド (10/30)、ほか 5 箇所 (7月、7/31、8/6、8/18、8/20)
66	ヒョウモンチョウ	1 箇所 (8/14)
67	ブチヒゲカメムシ	御馬寄 (7/18)
68	ホタル	佐久大学近くの川 (6/10)、相浜 (7/2)、桃源院近く (7/5)、おもいつき農園 (7/7)、ほか 1 箇所 (6/27)
69	ミズカマキリ	岸野小学校プール (7/18)
70	ミツバチ	1 箇所 (7/30)
71	ミノムシ	さやか星小学校 (7/23、7/24)
72	ミヤマカラスアゲハ	美笹湖 (5/15)
73	ミンミンゼミ	住吉町 (8/25)、ほか 1 箇所 (8/5)
74	モンシロチョウ	さやか星小学校 (7/23、7/24)、田口 (10/10)、ほか 3 箇所 (7/21、7/24、8/19)
75	ヤエヤマカラスアゲハ	1 箇所 (8/3)
76	ヤゴ	岸野小学校プール (7/18)、根岸 (7/30)
77	ヨコヅナサシガメ	1 箇所 (6/2)
78	ワラジムシ	1 箇所 (不明)
79	名称不明	1 箇所 (不明)

## 調査員からの写真



アカボシゴマダラ (杉の木貯水池)



ウスバシロチョウ (美笹湖)



ウラナミシジミ (八幡)



キバネツノトンボ (八幡)



キバラヘリカメムシ (西本町)



タイコウチ (蓬田)



ツマグロヒョウモン (西本町)



ハグロトンボ (西本町)



ブチヒゲカメムシ (御馬寄)



ミヤマカラスアゲハ (美笹湖)

## 2-2 植物類

報告件数 31件 / 921件中

	種類	発見場所 (発見日)
1	アジサイ	鼻顔稲荷公園 (8/20)
2	オオムラサキツユクサ	西本町 (5/29)
3	オニタビラコ	モリカクカメラ前 (5/26)
4	ガマ	猿久保 (8/17)
5	キバナコウリンタンポポ	東立科 (5/31)
6	クサノオウ	西本町 (5/29)
7	コスモス	平尾山 (10/3)
8	シロツメクサ	岩村田駅 (6/24)
9	スイカズラ	西本町 (5/29)
10	セイタカアワダチソウ	西本町 (10/5)
11	タツナミソウ	白秀堂前 (5/28)
12	タンポポ	平賀神社 (5/9)、杉の木貯水池 (5/11)
13	チチコグサ	モリカクカメラ前 (7/22)
14	トキワハゼ	モリカクカメラ前 (4/24)
15	ナガミヒナゲシ	岩村田駅 (5/31、6/24)
16	ハハコグサ	モリカクカメラ前 (7/22)
17	バラ	1箇所 (8/1)
18	ヒマワリ	1箇所 (8/20)
19	ヘチマ	さやか星小学校 (7/23)
20	ムシトリナデシコ	モリカクカメラ前 (7/22)
21	ムスカリ	杉の木貯水池 (5/11)
22	ヤドリギ	野沢大伴神社 (12/31)
23	ヤナギハナガサ	西本町 (6/24)
24	ヤマブドウ	さやか星小学校 (7/23、7/24)
25	ヨウシュヤマゴボウ	西本町 (10/5)
26	リコリス	鼻顔稲荷公園 (8/20)
27	名称不明	さやか星小学校 (7/24)

調査員からの写真



キバナコウリントンポポ（東立科）



クサノオウ（西本町）



スイカズラ（西本町）



チチコグサ（西本町）



ムシトリナデシコ（西本町）



ヨウシュヤマゴボウ（西本町）

## 2-3 魚類・両生類・は虫類

報告件数 98件／921件中

	種類	発見場所（発見日）
1	アカハライモリ	パラダ（10/3）、ほか2箇所（7/23、8/30）
2	カエル	八幡神社（5/9）、平賀神社（5/9、5/12、5/16）、佐久城山小学校（5/16）、岸野小学校（7/18）、さやか星小学校（7/23、7/24）、望月小学校（7/22、7/23、8/13、10/21）、泉小学校（8/28）、パラダ（10/3）、前山地区グラウンド（10/30）、ほか19箇所（5/9、5/16、6/23、7/8、7/21、7/24、7/27、7/30、8/1、8/15、8/16、8/18、8/19、8/21、8/27、10/31、不明）
3	カナヘビ	前山地区グラウンド（10/30）、佐久城山小学校（10/31）、ほか11箇所（6/2、7/21、7月、8/8、9/11、9/22、9/23、10/12、10/28、10/31、不明）
4	コイ	さやか星小学校池（5/21、5/22）、滑津川（5/21）
5	シマヘビ	望月小学校（7/23）、ほか1箇所（9月）
6	トカゲ	パラダ（9/3）
7	ドクガエル	さやか星小学校（7/24）
8	ドジョウ	中込小学校（10/1）、ほか1箇所（10/30）
9	トノサマガエル	佐久城山小学校（5/16）
10	ニホンアマガエル	平賀神社（5/9）、泉小学校（8/29）、パラダ（10/3）、布施（11/2）
11	ニホンヤモリ	1箇所（8/12）
12	ヘビ（抜け殻を含む）	5箇所（5/23、8/9、9/10、9/14、9/23）
13	メダカ	1箇所（8/20）
14	ヤマメ	1箇所（8/21）

### 調査員からの写真



ニホンアマガエル（布施）



コイ（滑津川）

## 2-4 鳥類

報告件数 303件/921件中

	種類	発見場所（発見日）
1	アオゲラ	美笹湖（4/12）
2	アオサギ	洞源湖（4/12）、杉の木貯水池（4/12、5/11、12/6）、ほか1箇所（7/27）
3	アオジ	昭和橋下（4/22）
4	アカゲラ	美笹湖（4/12、6/1）、大河原峠（6/22）
5	アカハラ	美笹湖（4/12）
6	アトリ	美笹湖（4/12）
7	イカル	美笹湖（4/12）
8	イワツバメ	杉の木貯水池（4/12）、布施川（5/2）、岸野小学校入口横断歩道橋（5/9）、中込小学校体育館（5/20）、ほか2箇所（4/28、5/18）
9	ウグイス	美笹湖（4/12）、洞源湖（4/12）、昭和橋下（5/12）、大河原峠（6/22）、杉の木貯水池（12/6）、ほか2箇所（5/7、12/11）
10	ウン	大河原峠（6/22）
11	エゾムシクイ	大河原峠（6/22）
12	エナガ	美笹湖（4/12）、杉の木貯水池（4/12、12/6）
13	オオバン	洞源湖（4/12）、杉の木貯水池（4/12、12/6）、ほか1箇所（7/27）
14	オオヨシキリ	御影橋下（5/16）
15	オオルリ	大河原峠（6/22）
16	オカヨシガモ	杉の木貯水池（12/6）
17	オナガ	大和町（4/6）
18	オナガガモ	杉の木貯水池（4/12、12/6）
19	カイツブリ	洞源湖（4/12）、杉の木貯水池（12/6）
20	カケス	美笹湖（4/12）、洞源湖（4/12）、大河原峠（6/22）
21	カシラダカ	美笹湖（4/12）、杉の木貯水池（12/6）
22	ガビチョウ	大和町（4/6）、美笹湖（4/12）
23	カモ	パラダ（10/3）、大和田（11月、12/12）、ほか2箇所（5/20、10/5）
24	カラス	望月小学校（10/22）、前山地区グラウンド（10/30）、三河田（12/11）、白山団地（12/13）、ほか8箇所（8/14、10/5、11/16、11/29、12/1、12/9、12/10）

25	カルガモ	美笹湖 (4/12)、洞源湖 (4/12)、杉の木貯水池 (4/12、12/6)、大河原峠 (6/22)
26	カワアイサ	杉の木貯水池 (12/6)
27	カワウ	洞源湖 (4/12)、杉の木貯水池 (4/12、5/11、12/6)、大和田 (11月)、ほか1箇所 (7/27)
28	カワセミ	杉の木貯水池 (12/6)
29	カワラヒワ	美笹湖 (4/12)、洞源湖 (4/12) 杉の木貯水池 (4/12、12/6)
30	カンムリカイツブリ	杉の木貯水池 (4/12、7/19、12/6)
31	キクイタダキ	大河原峠 (6/22)
32	キジ	おもいつき農園 (4/2)、美笹湖 (4/12)、内山牧場キャンプ場 (4/20、5/9)、ほか3箇所 (7/30、12/6、12月)
33	キジバト	美笹湖 (4/12)、洞源湖 (4/12)
34	キセキレイ	美笹湖 (4/12)、洞源湖 (4/12)、杉の木貯水池 (4/12)、昭和橋下 (4/22、5/12)、大河原峠 (6/22)
35	キバシリ	荒船出世不動尊 (4/12)、大河原峠 (6/22)
36	キビタキ	美笹湖 (4/12、5/5、6/1)
37	キンクロハジロ	杉の木貯水池 (12/6)
38	クサシギ	杉の木貯水池 (12/6)
39	クロツグミ	駒場公園 (10/11)
40	コウノトリ	桜井 (7/7、7/12、7月中旬)、杉の木貯水池 (7/19)、さくらさく小径 (7/21)
41	コガモ	洞源湖 (4/12)、杉の木貯水池 (4/12、12/6)
42	コガラ	美笹湖 (4/12)、大河原峠 (6/22)
43	コゲラ	美笹湖 (4/12)
44	コサメビタキ	中央図書館 (5/14)、美笹湖 (6/1)
45	ゴジュウカラ	美笹湖 (4/12)、荒船出世不動尊 (4/12)
46	コマドリ	大河原峠 (6/22)
47	コムクドリ	大和町 (5/10)
48	コルリ	大河原峠 (6/22)
49	シジュウカラ (ヒナを含む)	美笹湖 (4/12)、杉の木貯水池 (4/12、12/6)、ほか1箇所 (7/13)
50	シメ	杉の木貯水池 (12/6)
51	ジュウイチ	大河原峠 (6/22)
52	ジョウビタキ	美笹湖 (4/12)、駒場公園 (6/6)、大和町 (6/22)、杉の木貯水池 (12/6)、新子田 (4~5月)

53	シラサギ	セブンイレブン浅科バイパス店近く(8/9)、ほか6箇所(8/1、8/20、8/27、8/28、不明)
54	スズメ	美笹湖(4/12)、洞源湖(4/12)、杉の木貯水池(4/12、12/6)、佐久平浅間小学校周辺(8/17)、ほか12箇所(5/17、7/17、7/26、8/1、8/6、9/4、9/28、10/19、12/9、12/11、不明)
55	セグロセキレイ	杉の木貯水池(4/12、12/6)
56	ソウシチョウ	志賀山奥(5月)
57	ダイサギ	杉の木貯水池(4/12、12/6)
58	タシギ	洞源湖(4/12)
59	チョウゲンボウ	大和町(5/10)
60	ツグミ	美笹湖(4/12)、洞源湖(4/12)、杉の木貯水池(4/12、12/6)
61	ツバメ	洞源湖(4/12)、杉の木貯水池(4/12)、今井(5/6)、中央図書館(5/15)、望月有線放送農業協同組合(5/15)、佐久城山小学校(5/16)、荒宿(5/21)、瀬戸(6/8)、岸野小学校(7/18、7/22)、大和町(6/21)、長土呂(7/15)、岩村田児童館(7/24)、中込一丁目(8/1)、佐久ヘルシーテラス(8/4)、佐久平駅(8/19)、佐久総合運動公園(8/22)、小田井(不明)、中込会館(不明)、ほか12箇所(5/3、5/21、5/23、7/25、7/28、7/29、7/30、8/3、8月、10/30、12/6)
62	トビ	杉の木貯水池(4/12、5/11、12/6)、田口(10/10)、今井(11/25) ローソン佐久横和店周辺(12/13)、ほか3箇所(7/27、12/11、12/13)
63	トモエガモ	杉の木貯水池(12/6)
64	ノジコ	美笹湖(5/5)
65	ノスリ	おもいつき農園(4/2)、杉の木貯水池(12/6)
66	ハクセキレイ	杉の木貯水池(12/6)
67	ハクチョウ	1箇所(7/9)
68	ハシビロガモ	杉の木貯水池(12/6)
69	ハシブトガラス	美笹湖(4/12)、洞源湖(4/12)、杉の木貯水池(4/12、12/6)、大河原峠(6/22)
70	ハシボソガラス	杉の木貯水池(4/12、12/6)
71	ハト	望月小学校(8/26、12/8、12/10)、ほか2箇所(8/19、不明)
72	ヒガラ	美笹湖(4/12)、大河原峠(6/22)

73	ヒドリガモ	杉の木貯水池 (4/12、12/6)
74	ヒヨドリ	美笹湖 (4/12)、洞源湖 (4/12)、杉の木貯水池 (4/12、12/6)、長土呂 (5/10)
75	ビンズイ	大河原峠 (6/22)
76	フクロウ	1箇所 (10/9)
77	ホオジロ	美笹湖 (4/12)、杉の木貯水池 (12/6)
78	ホシガラス	大河原峠 (6/22)
79	ホシハジロ	杉の木貯水池 (4/12、12/6)
80	ホトトギス	香坂集会所北 (5/22)、大河原峠 (6/22)
81	マガモ	杉の木貯水池 (4/12、12/6)
82	ミコアイサ	杉の木貯水池 (4/12、12/6)
83	ミソサザイ	美笹湖 (4/12)、荒船出世不動尊 (4/12)、大河原峠 (6/22)
84	ムクドリ	杉の木貯水池 (12/6)、ほか2箇所 (5/16、8/3)
85	メジロ	美笹湖 (4/12)
86	メボソムシクイ	大河原峠 (6/22)
87	モズ	杉の木貯水池 (4/12、12/6)
88	ヤマガラ	美笹湖 (4/12)
89	ヤマドリ	志賀山奥 (5月)
90	ユリカモメ	桜井 (10/16)、杉の木貯水池 (12/6)
91	ヨシガモ	美笹湖 (4/12)、洞源湖 (4/12)、杉の木貯水池 (12/6)
92	ルリビタキ	大河原峠 (6/22)
93	名称不明	大和町 (6/22)、ほか8箇所 (8/26、9/12、12/9、12/12、12/13、12/14)

## 調査員からの写真



アオジ (湯川昭和橋下)



ウグイス (湯川昭和橋下)



オナガ (大和町)



ガビチョウ (大和町)



キジ (内山牧場キャンプ場)



キセキレイ (湯川昭和橋下)



キバシリ (荒船三世不動尊)



キビタキ (美笹湖)



クロツグミ (駒場公園)



コサメビタキ (中央図書館)



コウノトリ (北桜井)



コウノトリ (北桜井)



ゴジュウカラ (荒船三世不動尊)



コムクドリ (大和町)



ジョウビタキ (駒場公園)



ノジコ (美笹湖)



ノスリ (おもいつき農園付近)



ヤマドリ (志賀山奥)

## 2-5 ほ乳類

報告件数 55件／921件中

	種類	発見場所（発見日）
1	イタチ	望月小学校（12/8）
2	イノシシ	1箇所（10/20）
3	キツネ	佐久平浅間小学校近く（7/3）、杉の木貯水池（7/19）、大和田（8/28）、塚原（12/4）、浅科グラウンド（8月）、ほか6箇所（9/10、10/5、11/1、12/9、不明）
4	コウモリ	駒場公園（5～9月）、モリカクカメラ周辺（7～8月）、ほか1箇所（8/9）
5	サル	7箇所（8/22、9/10、10/30、11/20、12/7、12/9、12月）
6	タヌキ	布施（9月）、臼田グラウンド（11月）、琵琶島橋周辺（12/1）、北岩尾（12/11）、ほか5箇所（8/6、8/13、10/18、10月、不明）
7	ニホンカモシカ	荒船不動尊（4/12）
8	ニホンジカ	杉の木貯水池周辺（10/30）、ほか10箇所（7/26、8/11、9/22、10/20、10/30、11月、12/1、12/7、不明）
9	ニホンリス	2箇所（4/20、11/21）
10	ネコ	7箇所（9/12、10/2、11/29、12/7、12/9、12/12、不明）
11	モグラ	琵琶島橋周辺（9/20）

### 調査員からの写真



ニホンカモシカ（内山）



ニホンリス（志賀）



キツネ（杉の木貯水池）

## 2-6 その他

報告件数 77件 / 921件中

	種類	発見場所 (発見日)
1	アシダカグモ (脱皮)	モリカクカメラ前 (7/30)
2	アメリカザリガニ	さやか星小学校 (5/26)、パラダ (9/3、10/3)
3	エビ	1箇所 (8/17)
4	オオシロカラカサタケ	パラダ (10/3)
5	オニグモ	1箇所 (9/6)
6	貝	
7	キノコ	パラダ (9/3、10/3)
8	クモ	平賀神社 (5/9)、佐久城山小学校 (5/16)、一本柳 (8/20)、平尾山 (10/3)、前山地区グラウンド (10/3)、望月児童館 (10/4)、ほか4箇所 (5/20、7/30、9/15、不明)
9	サクラシメジ	パラダ (10/3)
10	サルノコシカケ	パラダ (10/3)
11	サワガニ	猿久保 (7/5)、岸野小学校 (7/18)、平井神社 (7/30)、ほか2箇所 (8/6、10/30)
12	シジミ	八幡 (5/17)
13	タカ	1箇所 (11/5)
14	タニシ	5箇所 (5/12、5/16、不明)
15	タマゴダケ	パラダ (10/3)
16	チチタケ	パラダ (10/3)
17	ドクベニタケ	パラダ (10/3)
18	ナメクジ	佐久城山小学校 (5/16)、ほか5箇所 (8/13、9/24、10/8、10/31、不明)
19	ハイタカ	杉の木貯水池 (12/6)
20	ハタケシメジ	パラダ (10/3)
21	ベニテングタケ	パラダ (9/3)、ほか1箇所 (10/3)
22	マシジミ	根岸 (8/15)
23	マダラコウラナメクジ	新海三社神社周辺 (9/4)
24	ミミズ	1箇所 (5/10)
25	ワシ	1箇所 (12/5)
26	名称不明	常田 (9/17)

## 調査員からの写真



アシダカグモ（脱皮）（西本町）



サワガニ（猿久保）



シジミ（八幡）



マダラコウラナメクジ（新海三社神社）

## 調査員から寄せられた感想

（個人情報保護等のため一部変更、省略しています。）

- ・新潟県で生まれたコウノトリを見られてよかった。
- ・身近にはいろんな生きものがいてびっくりした。わたしは虫が苦手だけど、ちょっと興味が出てきた。
- ・虫はたくさんいたけど、ほかの生きものがあまり見つからなかった。
- ・ホタルを見つけて、光っていてきれいだったし、毎年見るのが楽しみになった。
- ・杉の木貯水池には、知らない鳥や虫がたくさんいた。

- ・ツバメの特徴などがよくわかったし、いろいろな生きものの特徴もわかってよかった。
- ・わたしの学校のまわりには、いろんな夏の生きものや植物があり、特に植物はきれいな花がたくさん咲く。
- ・タカやハヤブサを見つけたい。
- ・クラスみんなで散歩しながら生きものを見つけられて楽しかった。いろいろな生きものがいて自然を感じられた。
- ・オオキンケイギクがあちらこちらで増えている気がする。
- ・冬や春はそんなに虫などいなかったが、夏に急に増えてびっくりした。
- ・平尾山公園（パラダ）にはいろいろな生きものがいた。（サミット）
- ・生きものについては全然知らなかったけど、「チョウ」はこんなに種類があることがわかっておもしろかった。
- ・望月地区にはたくさんの生きものがいて、自然豊かで生きものが暮らしやすい場所だと思った。
- ・生きものにはいろいろな特徴があって、同じ生きものでも特徴が違うことがわかった。
- ・鳥は飛ぶのが速いので、何の鳥かわからなくて困った。
- ・佐久市には、身近にたくさんの種類の昆虫が暮らしているので、自然を大切にしていきたい。
- ・生きものが暮らしやすい環境にするために、たくさんゴミ拾いをして自然を守っていきたい。

## 考察専門員の先生から

### ・木内 清 先生（鳥類）

#### 『ツバメについて』

平成 27 年、令和元年、令和 4 年、令和 7 年とほぼ 3 年ごとに調査してきましたが、多くの皆さんから情報を寄せていただき、佐久市のツバメの生息状況がある程度分かってきました。しかし、報告件数が年々減少しており、今回は初回の 10 分の 1、前回の 3 分の 1 でした。ツバメの巣が減ってしまったのか、あるいはツバメに対する関心が薄れてしまったのか、その要因は分かりませんが、いずれにせよ残念なことです。

小学 4 年生のアンケートで「自分の家にツバメの巣がある」という答えが、令和元年の 48.5%、令和 4 年の 35.4%に比べて今回は 13.8%と大きく減少していました。住宅の構造が変わって巣を作りにくくなったことや、泥や糞で家が汚れるので敬遠されることが影響しているのかも知れません。また、僅かですが巣立ちの雛の数も減少傾向にあります。

ツバメの巣の数が減り、巣立つ雛の数も減ってきているという結果は残念なことですが、スズメも 18 年間で 4 割減少したそうです。身近な生き物に目を向け、何万年も一緒に暮らしてきた生き物たちと共生していく道を探っていきたいものです。この「生きものさがし」がその一助になることを願っています。

### ・篠澤 明剛 先生（哺乳類、魚類、両生類、爬虫類）

#### ■ハクビシン

ハクビシンは、頭から鼻にかけて白い線があるために「白鼻芯」または「白鼻心」と書きます。この動物は、ジャコウネコ科ハクビシン属に分類される食肉類ですが、海外からやって来た動物かもしれません。

近年は、佐久市内でも見られるようになりました。市内のある地域では、ごみステーションに出没し、ごみをあさる様子が確認されています。しかもこの個体は、電線や電柱を使って、ごみステーションにやって来るので、足跡がほとんど残っていませんでした。

今回の調査では、市の北部や東部、山深い地域での確認が見られなかったように思えます。

ハクビシンの影響で、一部に農作物への被害も見られますので、今後も注意深く調査する必要があるでしょう。

## ・沼田 清 先生（魚類）

右の写真は千曲川に生息するカワウの写真です。たくさんいますね。佐久漁業協同組合の皆さんは、魚を食べ尽くしてしまうカワウやアオサギを追い払う方法をあれこれ試しています。



川岸の背の高い木の上に巣を作った卵を孵化させる性質があるので、巣の中の卵をニセモノと取り換えたりドライアイスで卵を冷やして孵化しないように頑張っています。

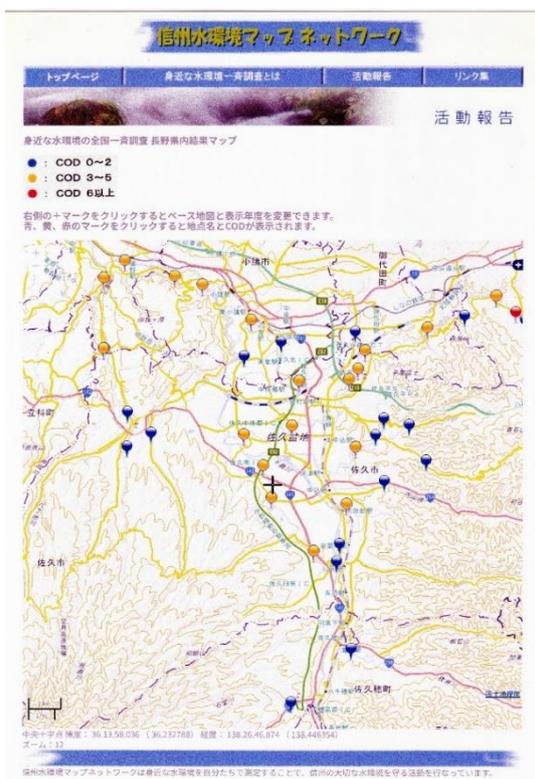
2019年の台風19号の影響で地形が変わったり、川底の石がひっくり返ったりして一時は川虫が居なくなりましたが、それを捕食する（食べてしまう）魚がいなくなったことで現在は川虫も川エビ（スジエビ）も数が戻ってきました。

また以前のように千曲川とその支流の片貝川、湯川、滑津川などにウグイやニゴイ、鯉、フナ、アユ、オイカワ（ヤマベ）、クチボソ、ドジョウ、カジカ、ヨシノボリ、スナヤツメなどが戻ってくると良いですね。

これらを見つけたらご報告をお願いします。

## 『身近な水環境全国一斉調査 長野県内結果マップ』

### ～生きもので知る水の汚れ調べ～



この地図は昨年6月にCODパケットという機材を使って全国一斉調査のなかから佐久地域の身近な河川での水質調査を実施した結果です。

水質調査はこのような機材を使わなくても生き物観察で調べることもできます。

青●地点の水質はとてもきれいなところ  
=川の中は石がゴロゴロしている所=イワナ、ヤマメ、サワガニ、ウズムシ、カワゲラなどの住むところ

黄●地点の水質はややきれいなところ  
=川の中に石があって石の表面に苔がくっつ

いてるところ=アユ、ウグイ、カゲロウ、トビケラ（ザザ虫）などの住むところ

赤●地点の水質はきたないところ=川底が砂や泥のところ=コイ、フナ、ザリガニ、ユスリカ（イトミミズ）、タニシなどが住むところ

このように生き物観察でも水質評価も出来ますからみんなでジャブジャブ川遊びしながら自然観察しましょう。

・信州水環境マップ・ネットワークHP <https://shinsyu-mizumap.midorinooka.net/>からも見るすることができます。

## ・佐藤 文一 先生（植物類）

### ■アレチウリ（ウリ科）

北アメリカ原産の一年生草本です。芽の出始めはキュウリにそっくりで、夏から秋にかけて雌雄別の黄白の花を付けます。果実は1cmほどの楕円形で、長い刺毛を密生する果実は葉の下で寒さを防ぐ、マント植物といわれています。

### ■オオキンケイギク（キク科）

北アメリカ原産の多年生草本で、明治時代中期に導入栽培されたものが広く野生化しました。また、仲間のハルシャギク（別名 ジャノメギク）も近年市内で見られます。

### ■オオハンゴンソウ（キク科）

北アメリカ原産の多年生草本（別名 ハナガサギク）で、明治時代中期に観賞用に導入されましたが、逸出して湿った土地に大群落を形成するようになりました。この他にアラゲハンゴンソウ、ヤエザキオオハンゴンソウ（別名 キヌガサギク）などがみられます。

### ■オオカワヂシャ（以前はゴマノハグサ科でしたが、現在はオオバコ科に分類、別名 オオカワヂサ）

在来種のカワヂシャは、河川や水際の浅い水中、水田に生育し、市内では野沢橋上流の中州で見られます。近年は、栄養繁殖が旺盛なオオカワヂシャが多くみられ、カワヂシャとの種間交雑を生じるため特定外来生物に指定されています。

### ■その他の植物

この頃は、道端にコセンダングサ（キク科）が多くみられます。この植物は、暖帯から熱帯に分布する農耕地雑草ですが、市内に生育するようになったのは温暖化の影響もあるのかもしれない。

## まとめ

今回の調査では、第二次佐久市環境基本計画の指標生物の中から6種を選定して調査を行い、そのうち5種について報告がありました。

調査対象種のうち、ツバメ類は令和元年度、令和4年度の調査と比較すると報告件数は減少しました。調査項目の「自分の家に巣があるか」について、令和4年度の調査では「ある」が35.4%、今年度は13.8%という結果でした。他の調査項目では、「自分の家に巣をつくることをどう思うか」に対し、「うれしい」、「汚れるのは嫌だが見守る」と回答した件数は全体の半数以上あり、ツバメの生育に肯定的である方が多いことが推察されました。

ツバメは、全国的に見てもエサとなる虫の減少や営巣環境の変化により減少傾向にあります。都心部に比べ佐久市にはまだ、ツバメが生育するための豊かな水田と緑地、それを温かく見守る人々の暮らしがあると思われ。しがしながら、生活環境の変化により今後も減少傾向が予想されるため、次回調査でも注視していく必要があります。

次に、特定外来生物に指定されている植物については、抜き取り作業や特定外来生物に関する講習会を行っているところですが、これまで分布がなかった地域でも生育が確認されるなど、依然として市内の広範囲に定着しています。

なお、調査種のうち、「オオカワヂシャ」は、今年度はじめての調査種となったこともあり、調査の報告はありませんでした。

全体の報告件数は、昨年度と比べて200件減少しました。なお、一般の方の報告件数は263件と昨年度を若干上回りましたが、小学生の報告は729件で、昨年度より約200件減少しました。佐久市の豊かな自然がどのように維持されているか、現在の身近な生きものの生息状況を把握することで、多種多様な生物やその生育環境を保全し、その恩恵を次世代に引き継ぐことを目的とする調査であることから、小学生の皆さんには、環境保全への関心を高めてもらうため、「わが家のエコ課長」などを通して、積極的に調査への協力を呼びかけたいと思います。

最後になりますが、ページの都合によりお寄せいただいた写真や感想のすべてをご紹介できませんでしたことをお詫びするとともに、今年度も多くの皆様に調査にご協力いただきましたことを改めて感謝申し上げます。

(文責：環境政策課)





令和7年度 緑の環境調査  
佐久市生きものさがし 調査報告書  
令和8年3月発行

---

編集発行：佐久市役所 環境部 環境政策課

〒385-8501 長野県佐久市中込 3056

電話 0267-62-2917

FAX 0267-62-2289